

# 令和5年度 学校法人増田学園 事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

## I 法人の概要

### (1) 基本情報

- ①法人の名称 学校法人増田学園  
②法人本部の所在地 〒260-0006 千葉県千葉市中央区道場北1-17-6  
千葉聖心高等学校内  
電話番号 : 043-225-4151  
FAX番号 : 043-227-7278  
HPアドレス : <http://www.chibaseishin-h.ed.jp/>

### (2) 建学の精神

- 聖心 清らかな心で他者を思いやること  
○努力 目標の実現に向け何事にも真剣に取り組むこと  
○奉仕 自ら進んで社会に貢献すること

#### 【学祖の意志(信念)】

私の学校の校訓の「努力、奉仕の心に徹せよ」は父の教訓を基として生まれたのであるが、道徳、人間形成の道においては昔も今日も変わりのある筈はなく、むしろ今の社会においてこそ、道徳が必要であると確信している。それ故に、私は私なりに時代に即応した道徳、人間形成の教育を説くことに私の生涯を捧げていきたいと、深く心に決めている。

—増田うめ著「吾が愛の教育9Pより」—

### (3) 沿革

- 昭和22年 4月 千葉洋裁学院創立(千葉市中央区椿森)  
昭和32年 1月 学校法人増田学園認可 理事長・学園長に増田うめ就任  
昭和39年11月 千葉女子専門学園と改称  
昭和42年 4月 校舎新築移転(千葉市中央区道場北)  
昭和44年 4月 保育科開設(保母養成課程)  
昭和45年 4月 保育科に幼稚園教員養成課程を開設  
昭和48年 4月 千葉女子専門学園附属幼稚園設置認可(千葉市美浜区高洲)  
昭和51年 4月 千葉女子専門学校及び千葉女子専門学校附属幼児園と改称  
昭和54年 4月 千葉聖心高等学校設置認可(全日制課程普通科)  
昭和62年 4月 東館校舎増築  
平成20年 3月 校舎移転(現在地)  
平成20年 4月 2代目学校法人増田学園長に増田良子就任  
平成20年11月 増田学園校舎改修落成記念式典挙行  
平成24年 4月 千葉女子専門学校附属ひじり保育園開園  
平成27年 3月 千葉女子専門学校附属聖幼稚園廃園  
平成27年 4月 幼保連携型認定こども園千葉女子専門学校附属聖こども園設置認可  
平成29年 4月 千葉女子専門学校 文部科学大臣から「職業実践専門課程」の認定  
平成30年 1月 同年1月25日千葉市保健福祉局地域福祉課監査指導室の平成29年度社会福祉法人等指導監査(対象:千葉女子専門学校附属聖こども園)  
平成31年 1月 同年1月29日付けで文部科学大臣から「平成31年度以降の教員養成機関」としての指定を受ける。(千葉女子専門学校)  
平成31年 3月 同年3月28日付けで千葉県知事より「保育士養成課程に係る学則変更」について、31年度の学生から適用通知を受ける。

平成31年	3月	同年3月29日、千葉女子専門学校附属聖こども園園用地東側に隣接する民地を千葉女子専門学校実習用地として取得登記
平成31年	4月	同年4月8日付けで文部科学大臣から「指定教員養成機関の教育課程の変更」について、平成30年度、平成31年度とも認定
令和元年	9月	同年9月20日付けで千葉県知事から高等教育の修学支援新制度の対象機関として認定（千葉女子専門学校）
令和元年	10月	同年10月1日から「幼児教育・保育」の無償化開始（千葉女子専門学校附属聖こども園）
令和2年	4月	同年4月1日から「高等教育の無償化」を開始（千葉女子専門学校）
令和2年	8月	同年8月19日、千葉県総務部学事課による実地指導監査 実地指導監査対象校（千葉女子専門学校、千葉聖心高等学校、千葉女子専門学校附属聖こども園）
令和2年	9月	同年9月1日「iPad」を導入（千葉女子専門学校）
令和3年	5月	同年5月6日、千葉女子専門学校南側に隣接する民地を学校用地として取得登記
令和3年	11月	同年11月4日、周辺民間住宅（アパート）と千葉女子専門学校旧学生院内寮北側の境界が確定し、その間にある国有地の払下げを受け学園管理用地として取得登記
令和3年	12月	令和3年12月13日、令和3年5月6日に取得登記した学校用地と千葉女子専門学校用地南側の間にある国有地の払下げを受け学校用地として取得登記
令和4年	8月	千葉聖心高等学校東館南側非常階段鉄骨基礎部分の腐食及び亀裂による階段手摺撤去、鉄骨補強、塗装等の改修工事の実施
令和5年	2月	千葉女子専門学校多目的ホール天井照明器具のLED化を図る
令和5年	3月	令和5年3月31日、「学校法人増田学園研究研修棟」竣工
令和5年	4月	千葉聖心高等学校校舎内1階から5階までの各部屋の照明器具及びテニスコート、部室等外エリアの全ての照明器具を撤去し、LED化のための電気工事を実施

#### （４）設置する学校名及び所在地

学校名	所在地
千葉女子専門学校 保育科	千葉市中央区道場北1-21-21
千葉聖心高等学校 全日制普通科	千葉市中央区道場北1-17-6
幼保連携型認定こども園 千葉女子専門学校附属聖こども園	千葉市美浜区高洲2-3-24

#### ○2校1園の成り立ちは以下のとおりである。

##### ア 千葉女子専門学校 保育科

学祖の意志を継承し、戦後の復興期から女性の自立・幸せ、及び人間形成をめざした教育を実践してきた。洋裁をはじめとする服飾技術と心の教育を柱として始まり70有余年が経つ。その間、時代の要請とともに専門学校は、幼児教育・保育の分野へと転換を図り、昭和44年4月に保育科を開設し保母養成課程（現保育士養成課程）を、昭和45年には幼稚園教諭養成課程をそれぞれ設置致しました。魅力あふれる保育者の養成をめざして半世紀以上になる。卒業生もおおよそ7千名となり、幼児教育・保育等の中枢で活躍している。

一方、昭和48年4月には専門学校附属の聖幼稚園、平成24年4月には同ひじり保育園、平成27年4月には二つの園を統合して、千葉市内では最初の幼保連携型認定こども園千葉女子専門学校附属聖こども園を開園し、幼児教育・保育の実践ができるように環境を整え、今日に至っている。

## イ 千葉聖心高等学校 全日制普通科（女子校）

昭和45年代以降における我が国の義務教育修了者の高等学校進学率は、高度経済成長とともに平均70%台に伸びていた。都市部においては90%台に迫る勢いであり、当時の文部省は私立高校に40%の受入れを求めていたほどである。千葉県当局においても私学とのバランスを図りながら毎年公立高校の新設を推進していた時代であった。

このような背景にあって、当学園では、千葉女子専門学校の「家政高等課程」を廃止し、昭和54年4月に千葉聖心高等学校（全日制課程普通科）を立ち上げたのである。爾来、学祖の一貫した女子教育への情熱のもと、女性の自立と幸せ、道徳と人間形成をめざした教育実践を展開し現在に至っている。「進学コース」、「総合コース」とともに、平成19年から「こども保育コース」を設けて、千葉女子専門学校及び聖こども園との連携を図りながら保育者の養成にも寄与している。

## ウ 千葉女子専門学校附属聖こども園

これからの日本及びグローバルな世界で力強く生き抜く力、社会に貢献できる人材の育成は、幼児期からの教育・保育が大切である。こどもたちの感性豊かな心と体を育み、社会の変化とニーズに呼応した人間形成をめざすことを目的として、昭和48年4月に千葉女子専門学校附属聖幼稚園を、平成24年4月には同ひじり保育園を開園した。

その後、時代の要請を受け、平成27年4月には二つの園を統合し、千葉市内では最初の「幼保連携型認定こども園」として千葉女子専門学校附属聖こども園を開園した。就学前の幼児教育・保育の提供及び地域における子育て支援に寄与しながら今日に至っている。

### (5) 施設等の状況

①土地所有面積	29,065.19 m <sup>2</sup>
内訳： 本部（高校）	( 21,425.77 m <sup>2</sup> )
専門学校	( 4,762.40 m <sup>2</sup> )
聖こども園	( 2,877.02 m <sup>2</sup> )
②建物面積	11,294.528 m <sup>2</sup>
内訳： 本部（高校）	( 6,441.62 m <sup>2</sup> )
専門学校	( 3,085.758 m <sup>2</sup> )
聖こども園	( 1,767.15 m <sup>2</sup> )

### (6) 学生生徒数等（令和6年3月31日現在）

名 称	学 科	募集定員		平成5年4月1日現在		令和6年3月31日現在				
				人数	計	人数	計			
千葉女子専門学校	保育科 (女子)	1年	100	71(9)	136(20)	67(9)	131(20)			
		2年	100	65(11)		64(11)				
千葉聖心高等学校	全日制 普通科 (女子)	1年	200	129	452	116	422			
		2年	200	143		128				
		3年	200	180		178				
	保育部	0歳	6	30	3	28	3	27		
		1歳	9		9		9			
		2歳	15		15		15			
	幼稚舎	3歳	1号	22	42	30	164	44	46	
			2号	20		14		27		
		4歳	1号	22	42	12		46	11	46
			2号	20		34			35	
		5歳	1号	22	42	19		47	15	47
			2号	20		28			32	

※ (1) こども園乳幼児の区分	(2) 高校の定数	(3) 専門学校
1号認定児（保育を必要としない3歳～5歳児）	180名（推薦・併願等）	( ) は訓練生の内数
2号認定児（保育を必要とする3歳～5歳児）	20名（一般）	
3号認定児（保育を必要とする0歳～2歳児）	200名（合計）	
※ 令和5年度 全体の学生生徒等人数（当初総数 752名 年度末総数 719名 差異 33名減）		

### (7) 歴代理事長・学園長

<b>[理事長]</b>	初代理事長（財団法人含む）	増田 うめ（昭和26年～昭和34年）
	第2代理事長	増田 清（昭和35年～昭和59年）
	第3代理事長	増田 浩（昭和60年～平成16年）
	第4代理事長	増田 和人（平成17年～）
<b>[学園長]</b>	初代学園長	増田 うめ（昭和26年～平成8年）
	第2代学園長	増田 良子（平成20年～）

### (8) 法人役員等の状況（令和6年3月31日現在）

#### ① 理事（寄附行為規定6名～8名）

No.	氏名	就任年月日	態様	備考
1	増田 和人	H17.4.1	常	理事長
2	山岸 信和	H28.4.1	常	副理事長
3	増田 良子	H20.4.1	常	法人学園長（現千葉女子専門学校長）
4	星野 和彦	H12.7.18	非	元千葉聖心高等学校長、元県立高等学校長
5	前嶋 薫	H25.4.1	非	元株式会社監査役、元株式会社代表取締役社長、元銀行執行役員
6	足立 叡	H29.7.24	非	元大学長・元大学教授、元千葉女子専門学校非常勤講師
7	澁谷 正	R 5.4.1	非	元千葉聖心高等学校長、元県立高等学校長
8	三浦 勤治	H30.4.1	常	現千葉聖心高等学校長、元県立高等学校長

#### ② 監事（寄附行為規定2名）

No.	氏名	就任年月日	態様	備考
1	藍原 誠壽	H26.4.1	非	元大学AO入試センター教授、元県立高等学校長
2	尾地隆一郎	R 5.4.1	非	前株式会社監査役、元株式会社代表取締役社長、元銀行常務執行役員

※「態様」欄は、常勤役員等の場合は「常」、非常勤役員等の場合は「非」と表示。

#### ③ 評議員（寄附行為規定13名～17名）

No.	氏名	就任年月日	備考
1	増田 良子	H20.4.1	寄附行為第24条第1号
2	早坂 恵子	R5.4.1	寄附行為第24条第2号
3	日暮さつき	H25.4.1	寄附行為第24条第2号
4	中野 武彦	H3.4.1	寄附行為第24条第2号
5	日蔭野貴之	R5.4.1	寄附行為第24条第2号
6	千葉 良夫	H26.4.1	寄附行為第24条第2号
7	増渕恵理子	H27.4.1	寄附行為第24条第3号
8	齊藤 松子	R 2.4.1	寄附行為第24条第3号
9	星野 和彦	H12.7.18	寄附行為第24条第4号
10	山岸 信和	H24.1.10	寄附行為第24条第4号
11	三浦 勤治	H30.4.1	寄附行為第24条第4号
12	龍田知恵子	H3.4.1	寄附行為第24条第5号
13	岡部 妙子	H5.4.1	寄附行為第24条第5号
14	増田 和人	H17.1.25	寄附行為第24条第6号

## (9) 教職員数（令和6年3月31日見込み）

区 分	本 部		千葉女子専門学校		千葉聖心高等学校		千葉女子専門学校 附属聖こども園		合 計		
	4/1	3/31	4/1	3/31	4/1	3/31	4/1	3/31	4/1	3/31	
教員	常 勤	0	0	15	15	36	36	27	26	78	77
	非常勤	0	0	20	20	13	13	6	7	39	40
職員	常 勤	5(3)	5(3)	3	3	0	0	4	4	12(3)	12(3)
	非常勤	2(2)	2(2)	2	3	0	0	2	2	6(2)	7(2)
合 計	7(5)	7(5)	40	41	49	49	39	39	135(5)	136(5)	

注 記 ・常勤職員（正規職員の勤務時間と同等の勤務する者を含む）、非常勤職員（常勤職員以外の者）

・（ ）内は兼務職員の内数

・年間での異動者数 ①退職者数 7月31日付け退職者1名(常勤1名)

3月31日付け退職者数16名(定年2名・常勤4名・契1名・非常勤9名) 計17名

②採用者数 5月1日付け採用1名(パート1名) 9月1日付け採用(パート1名)

11月20日付け採用(パート1名) 計3名

## II 令和5年度 事業活動報告書の概要

学園および2校1園の令和5年度の主な事業活動状況については、以下のとおりである。

### ●令和5年度学園としての取り組みについて

#### (1) 感染症予防対策および安全対策

この3年間におけるコロナの発生に伴う予防対策や安全対策等に係る取り組みは、学園としても重要な取り組みであった。幸いに、学生生徒・園児、職員等には健康上の重大な事案もなく、また、教育活動における大きな支障もなく、それなりに真摯な取り組みができたのではないかと考えている。しかし、コロナが消滅したわけではなく、コロナの医療的区分が今年の5月から2類から5類に引き下げられ、インフルエンザ並みとなった以降も、安心することなく、うがいや、手洗い、消毒等の予防対策や安全対策の支援を継続してきた。

#### (2) 研究研修棟の有効活用

千葉女子専門学校に隣接する民地を令和3年に取得することができ、そこに木造2階建ての研究研修棟を新築した。福祉活動や子育て支援の活動の拠点として、昨年に福祉保育推進室を設け、試行錯誤を繰り返しながらの諸活動が展開されている。

現在、福祉保育推進室が中心となり、地域とのつながりを重視したイベント活動等を展開している。そして、昨年は、里親子を招いて「親子でパン教室」を開き、また、近隣の小学生を招いて、「工作教室」や「駄菓子屋カフェ」、そして保育に携わる卒業生や関係者を対象として外部の大学教授による「保育セミナー」を開催している。福祉保育推進室の取り組みに頭が下がる思いであるが、学園としての役割も大きく広がっている。

#### (3) 施設設備の老朽化対策

これまで2校1園の照明器具のLED化や、専門学校や高等学校においてはICT教育の一環としてiPadの導入等を図ってきた。特に高等学校においては生徒ひとり一人に貸し出す方法を取りながら、家庭での学習や連絡が可能な環境づくりに取り組んで来た。

また、空調機の故障が目立つようになり、教室および各部屋の空調機を更新するとともに、中校舎の東側非常階段の腐食防止のための塗装工事や生徒用手洗い場の増設等を行い、学習環境の維持・改善に努めてきたところである。

#### (4) 新設保育園の整備事業

昨年千葉市が公募した保育所の移管事業により、都保育所廃園後の運営が承認されているが、令和7年4月の開園に向けたその準備作業については順調に進んでいる。園舎の建設設計も専門業者との打ち合わせをしながら進めており、必要な施設設備や備品等の調達についても計画的に進めているところである。

現時点で千葉市との引継・共同保育を行うためのスタッフとして園長候補者を含む8名の保育士の確保はすでに終了した。

## ●2校1園としての取り組みについて

2校1園の令和5年度事業活動の状況については、当学園のこれまでの歴史や経営方針をふまえながら、1年1年をしっかりと取り組んでいる。

教育機関としての役割を果たすべく、専門学校では、笑顔あふれる保育者の育成と就職支援を、高校では基礎基本を重視した学び直しと希望の持てる進路開拓を、こども園では遊びをとおした人間形成と子育て支援を行い、それぞれの教育・保育の展開を留まることなく推進してきた。

### (1) 千葉女子専門学校

#### 【教育目標】

- 本学園の建学の精神である「聖心・努力・奉仕」に基づき、豊かな感性と表現力をもった保育者を育成する。
- 幼稚園教諭・保育士養成校としての長年の伝統を生かし、乳幼児教育をライフワークとし日々研鑽・成長する保育者を育成する。
- 教育にあたっては、個々の学生の資質や個性を十分に把握し、個々に応じた綿密な教育の実現を目標とする。

#### 【質の向上・充実】

- 教育課程の見直しによるカリキュラムの定着に注力してきた。
- 学生には、授業に対する意見等を聞くなどしながら授業展開してきた。
- 普段実施している授業を教員相互に参観し合う機会（公開授業）を設け、授業改善や指導力の向上を図ることや、外部講師による保育セミナーへの参加や研究レポートの作成をとおして、質の高い授業内容を学生に提供できるように努めてきた。
- 教室内の授業態度も落ち着いており、その効果が現れている。引き続き授業改善に努めながら、また、教員自身の研究と自己研鑽をとおして指導力の向上を図り、質の高い教育の提供に努めていきたい。

#### 【教育環境の整備充実】

- 昨年新設した研究棟（多目的施設）に福祉保育推進室を置き、福祉・保育に資する事業活動を実施した。（子ども対象の工作教室や親子教室、保育セミナーの開催等）
- 校舎内外の安全・安心かつ清潔な環境の継続的維持に努めた。
- 図書整備の充実（学生用図書のほか、iPadや教職員研修用図書の継続的な整備）
- 補修・修理箇所の早期対応。

#### 【広報活動の充実強化】

- 高校訪問等の実施  
入学者の獲得は厳しい状況にあるが、県内の高等学校を中心に学校訪問や進路ガイダンス等に積極的に参加し、本学の良さや魅力をアピールしながら広報活動の充実強化を図ってきた。また、模擬授業を通して本学の指導内容の理解と興味を深めてもらう工夫を行った。
- オープンキャンパスの一層の工夫と充実。  
年10回程度実施しているが、体験講座（工作遊び、手遊び、音楽表現など）や、学校概要（教育課程、実習、就職など）、入試要項の説明や校内見学などを丁寧に実施。
- 学校案内、パンフレット等の工夫や広告媒体の活用を行った。

#### 【現場に直結した実習指導の充実】

- 本年度も千葉女子専門学校附属聖こども園のほか、他の幼稚園・保育園、障害者施設等のご協力をいただきながら教育実習及び保育実習並びに施設実習を実施した。
- 1年生：5月～6月（観察実習）1月～2月（教育実習Ⅰ）2月（保育実習Ⅰ）  
2年生：5月～6月（教育実習Ⅱ）8月一杯（施設実習）9月～10月（保育実習Ⅱ）

#### 【就職支援活動】

- クラス担任制による学生と教師がコミュニケーション活動の充実を図っている。  
何でも相談できる環境づくり、また、就職担当職員とともにきめ細かな就職指導やサポートを組みながらその支援活動を実施してきた。これは本校の特徴であり、その特徴や強みを生かしながら今後もその支援活動の充実を図ってきた。
- 面接や履歴書の作成指導を実施した。

就職の決め手となる学生の良い面を引き出すための「面接指導」であり、また、分かりやすく好感の持てる履歴書の作成指導を行った。

- 「就職活動体験報告会」を実施し、就職の決まった2年生が、自身の活動経験をもとに1年生にアドバイスをするなど、就職活動の参考となるようにしている。
- 「就職合同説明会」を2回実施。  
千葉市民間保育協議会および船橋市民間保育協議会と連携した就職説明会をそれぞれ開催した。県内の幼稚園・保育園等に参加していただき、経営方針や園の特徴、職場の環境や労働条件等について、具体的に知ることができた。
- 「公務員試験対策講座」の実施。  
公立の幼稚園・保育所等への就職に向けて、「公務員試験対策講座」を実施した。一般教養、専門科目、小論文の指導等、また、模擬試験を実施して希望が遂げられるように支援している。

### 【学校行事】

- 「入学式」については、4月4日（火）10：00から大ホールにおいて入学生（70名）のみを対象として挙行了。外部の来賓、保護者の出席を行いながら実施した。
- 「ファーストステップ研修」の実施「4月6日（木）」。  
実施内容は、今後の学校生活における心構えや保育に関連した教師の講話、カリキュラムの概要、ペープサートやパネルシアター、音楽表現遊び、絵本の読み聞かせなどと共に、オリエンテーション的な内容を含めて実施した。
- 「七夕まつり」7月6日（木）に実施。聖こども園の園児を招いて行った。  
笹竹に短冊などの装飾をし玄関や大ホールに置き、また、歌や手遊び、パネルシアター、ダンスや盆踊りなど、七夕にちなんだ表現活動をとおして伝統行事を楽しんだ。
- 「学園祭（りんどう祭）」11月11日（土）に実施。  
今年のテーマ「思い出をかたちに ～輝け プリンセス～」とし、10時から14時まで一般公開をした。発表内容は、「トトロ/おおかみと8ひきのこうさぎ/おゆうぎ会/うたっておどろっか」など。福祉保育推進室では、パンやカレーの販売を行なった。
- 「卒業式」3月15日（金）10：00から大ホールにて挙行。  
64名が卒業し、ほとんどが保育者として就職した。詳細は下表のとおりで、それぞれの職場で活躍している。

別表（1） 卒業生の進路状況 （令和6年3月31日現在）

種 別		人数	割合	専門職希望割合	専門職就職率
専 門 職	保 育 園（所）	30名	47.0%	95.3%	100%
	こ ども 園	9名	14.1%		
	幼 稚 園	3名	4.7%		
	児童養護施設	8名	12.5%		
	障害者支援施設	5名	7.8%		
	乳児院	1名	1.5%		
	生活介護施設	1名	1.5%		
公 務 員	4名	6.3%	船橋市、鎌ヶ谷市、八街市、千葉県		
専 門 外		2名	3.1%		
そ の 他		1名	1.5%	家事専念等	
合 計		64名	100%		

※保育園への就職が約半数を占める中で、公務員と施設への就職者が増えている。

## 【高校・こども園との連携活動】

- 高校の「こども保育コース」を専攻している生徒への学習支援や実習指導。
- 調理実習授業の際の施設設備等の借用等についての連携強化を図っている。
- こども園については、学生の教育・保育の実習先の一つとして指導をお願いしている。  
また、こどもたちには、学園祭の見学に来ていただきながら交流を深めているが、今年度も昨年度と同様に招待できていない。

## 【諸課題等】

- カリキュラムやシラバス等の適切な運用と、次年度にむけた教員配置や研修体制の更なる充実を図り、質の高い授業内容を学生に提供することを優先課題として継続的に取り組む。（そのほか、個別報告書を参照。）

## （2）千葉聖心高等学校

### 【教育目標】

「聖心・努力・奉仕」の建学の精神を尊重し、ものの見方や考え方の基礎を身に付けることに重点をおいた教育を行うことによって、倫理観・人生観を備え持って、世のため人のために尽くすことのできる魅力ある女性の育成をめざす。

- （1）心豊かな礼儀正しい自立した女性の育成
- （2）確かな学力を身につけた行動力のある女性の育成
- （3）学校・家庭・地域の連携による社会に貢献できる女性の育成

### 【学習指導の充実強化】

- 本校の生徒への指導の中心は「基礎基本の定着」であるため、分かりやすく丁寧な授業の組み立てと展開を進めている。授業のほかに、学び直しである JITAN 学習、個別指導などをおして基礎学力の底上げに注力してきた。また、ICT 機器活用やアクティブラーニングを積極的かつ能動的に学べる授業の実践に取り組んできた。
- 10月2日～12日にかけて、校内での授業研究会を実施した。全職員が1人2コマの授業をみることでスキルアップを図った。
- 今年度も他の副教材とともに「スタディーサプリ」を用意し、学習内容の充実を図る。
- 得意科目は更に伸ばしながら自信をつけてもらう。苦手な科目であっても逃げずに、努力する態度が持てるように、個々にあった学習指導に努めてきた。
- 読書の推進、学習支援の充実等を目的として、生徒が興味・関心を持つような新刊本の充実を図ってきた。

### 【生徒指導の充実】

- 全体としては、落ち着いた学校生活を送っている生徒ばかりであるが、「社会に喜んで迎えらる心豊かな女性の育成」をめざして、朝の校門指導や声掛け、服装や言葉遣いの指導等をおして取り組んできた。
- SNS による問題が発生しないようにということで、年に複数回の啓発指導や注意喚起等をし、情報モラル教育を推進している。
- いじめを見逃さない学校体制を強化してきた。
- 生徒理解に全職員で取り組めるように相談体制を強化している。

### 【進路指導の充実】

- 生徒のニーズに合った本校独自の進路指導をめざして、推薦・総合型の入試対策を強化、千葉女子専門学校との連携強化、また、2 学年末からのガイダンス、担任同士の連携、外部イベントの有効活用を図るなど、就職指導のシステムの強化を図った。
- 働くことの意味や楽しさを理解し、体験してもらうための進路ガイダンスやインターシップ等の積極的な推進を図ってきた。
- 各学年における計画的な進路指導を実践するように心がけてきた。
- 保育とともに、看護系・医療系の進学希望者受験対策の強化を図ってきた。
- 大学や短大への進学指導については、夏期集中講座や個別指導を実施した。
- 就職活動についても、希望者の殆どは就職を果たすことができたが、近年は減少傾向にある。

**2023年度 総数178名**

大学	短大	専門学校	千葉女子 専門学校	就職	その他
41	22	69	25	9	12

- ・進学率89%。また、学校斡旋の就職決定率は100%。
- ・千葉女子専門学校を除けば「大学・短大」と「専門学校」への進学人数はほぼ同数。

**2023年度 コース別 進路実績**

コース別	大学	短大	専門	就職	女専
こども保育	8	15	4	0	25
進学	24	4	23	2	0
総合	9	3	42	7	0

- ・保育コース以外から千葉女子専門学校への入学者は0人。
- ・進学コースでは大半が大学・短大へ進学。加えて、専門学校進学者の多くは看護医療系などの難関校へ進学。
- ・総合コースでは6割以上が専門学校へ進学。(受験方法：85%が総合型)

**【特別活動（部活動）の充実】**

特別活動では、生徒の自主性を尊重しながら指導や支援に職員全員で取り組んでいる。

○部活動は、生徒にとって仲間と苦楽を共に過ごしながら、自分自身の心身を成長させることのできる時間・空間であり、重要な教育活動の一環である。

令和5年度は、5月にコロナの分類が5類になった以降、各種の大会が再開されるようになり、活気のある部活動がみられるようになった。

○各種大会の成績（再掲）

**①ソフトテニス部**

大会名：関東高等学校ソフトテニス大会千葉県予選会

日時：令和5年5月6～8日 場所：白子町テニスコート

団体戦 ベスト16位 3年生3名 2年生5名

個人戦 9位関東大会出場 3年生1名 2年生1名

5回戦進出関東大会出場 2年生2名

5回戦進出 3年生2名

大会名：千葉県高等学校総合体育大会ソフトテニス大会

日時：令和5年6月11日 場所：白子町テニスコート

団体戦 ベスト16位 3年生5名 2年生3名

個人戦 5回戦進出 3年生1名 2年生3名

大会名：きらめきソフトテニス大会（ダブルス）

日時：令和5年8月26・27日 場所：白子町テニスコート

個人戦 ベスト8位 2年生3名

大会名：千葉県高等学校新人体育大会ソフトテニス大会

日時：令和5年11月3～5日 場所：白子町テニスコート

団体戦 ベスト16位 3年生1名 2年生4名 1年生2名

大会名：千葉カップ（学年別大会）

日時：令和5年2月5日 場所：フクダ電子ヒルスコート

個人戦 準優勝 2年生2名

個人戦 3位 1年生1名

**②バトミントン部**

大会名：令和5年度関東高等学校バトミントン大会千葉県予選会

日時：令和5年4月28日 場所：印西松山下公園総合体育館

団体戦 ベスト16位 3年生1名 2年生4名 1年生1名

大会名：第76回 千葉県高等学校総合体育大会バトミントン競技大会  
 日 時：令和5年6月14日 場所：JFE体育館  
 団体戦 ベスト16位 3年生1名 2年生5名 1年生1名  
 個人戦 ダブルス2回戦進出 2年生2名  
 シングルス1回戦進出 2年生1名

大会名：令和5年度千葉県高等学校1・2年生バトミントン大会  
 日 時：令和5年7月28日 場所：JFE体育館  
 個人戦 シングルス3位 2年生1名  
 シングルス2回戦進出 2年生3名

大会名：令和5年度千葉県高等学校新人体育大会  
 日 時：令和5年11月10日 場所：JFE体育館  
 団体戦 5位 2年生5名 1年生1名  
 個人戦 ダブルスベスト16位 2年生2名  
 シングルス1回戦進出 2年生1名

大会名：令和5年度第29回千葉県私立高等学校バトミントン大会  
 日 時：令和6年3月24日 場所：市川塩浜体育館  
 団体戦 5位進出 2年生5名 1年生1名

### ③テニス部

大会名：令和5年度関東テニス大会千葉県予選会兼千葉県総合体育大会テニス大会  
 日 時：令和5年4月8・9・15日 場所：昭和の森テニスコート  
 団体戦 優勝 3年生5名  
 個人戦 シングルス3位 3年生1名  
 シングルス5位 3年生1名  
 シングルス6位 3年生1名  
 シングルスベスト8進出 3年生2名  
 ダブルス優勝 3年生2名  
 ダブルス3位 3年生2名  
 ダブルスベスト8進出 3年生3名 2年生1名

大会名：令和5年度関東テニス大会千葉県予選会兼千葉県総合体育大会テニス大会  
 日 時：令和5年4月30日  
 場所：渋谷幕張高校テニスコート、青葉の森公園庭球場、浦安市運動公園  
 団体戦 1回戦敗退 3年生5名  
 個人戦 シングル1回戦敗退 3年生2名  
 ダブルス2回戦敗退 3年生2名  
 ダブルス1回戦敗退 3年生2名

大会名：令和5年度千葉県高等学校総合体育大会テニス大会（団体の部）  
 日 時：令和5年5月26日 場所：白子町テニスコート  
 団体戦 4回戦敗退ベスト16位 3年生5名

### ④剣道部

大会名：令和5年度関東高等学校剣道大会千葉県予選会  
 日 時：令和5年5月10日 場所：船橋アリーナ  
 団体戦 1回戦敗退 3年生1名 2年生2名 1年生2名

大会名：千葉県高等学校総合体育大会地区予選会  
 日 時：令和5年5月27日 場所：千葉県立生浜高等学校  
 団体戦 予選リーグ敗退 2年生1名 1年生2名  
 個人戦 2回戦進出 2年生1名  
 1回戦敗退 1年生4名

大会名：千葉県私立高等学校剣道大会

日 時：令和5年8月26日 場所：船橋アリーナ  
団体戦 予選リーグ敗退 2年生1名 1年生2名

大会名：千葉県高等学校新人剣道大会

日 時：令和5年11月26日 場所：船橋アリーナ  
団体戦 1回戦敗退 2年生1名 1年生4名

### ⑤バスケットボール部

大会名：関東高等学校バスケットボール選手権大会千葉県第7地区予選会

日 時：令和5年4月16・22・23日

場 所：千城台高校、千葉南高校、若松高校

団体戦 本戦1回戦敗退、敗者復活戦3回戦敗退

3年生4名 2年生3名 1年生1名

大会名：千葉県高等学校総合体育大会バスケットボール大会第7地区予選会

日 時：令和5年6月3・4日 場 所：泉高校、土気高校

団体戦 予選リーグ通過、県代表決定戦敗退

3年生4名 2年生3名 1年生1名

大会名：第76回全国高等学校バスケットボール大会

日 時：令和5年7月22日 場 所：泉高校

団体戦 1回戦敗退

3年生4名 2年生3名 1年生1名

大会名：千葉県高等学校新人体育大会バスケットボール大会第7地区予選会

日 時：令和5年11月19日、12月2日 場 所：泉高校、土気高校

団体戦 本戦2回戦敗退、敗者復活戦1回戦敗退

3年生4名 2年生3名 1年生1名

### ⑥吹奏楽部

大会名：令和5年度千葉県吹奏楽コンクール

日 時：令和5年7月31日

場 所：千葉県文化会館大ホール

B部門（小編成の部）銅賞

### ⑦カーレット部

大会名：愛国学園大学撫子祭カーレット大会

日 時：令和5年11月16日

場 所：愛国学園大学

ブロック準優勝

### ⑧軽音楽部

大会名：高校生バンドフェスティバル（CFes2023）

日 時：令和6年2月4日 出演

場 所：千葉市民会館

## 【主な学校行事への取り組み】

行事をとおした「体験や学び」は、有形無形に生徒の成長に寄与するものであり意義深いものである。令和5年5月以降の諸行事については、一部制限や中止した行事があるものの、できるだけコロナ禍以前に戻しながら実施してきた。

○【第45回入学式】 4月7日（木）10：00～ 会場：千葉市民会館大ホール

事前に会場の予約をしていた関係から、今回の入学式についても昨年に引き続き千葉市民会館にて、来賓等の招待はせず、また、保護者の座席は1席ずつ空けるなど、感染症対策をしながら開催した。129名の新入生を迎えることができた。

○【校外学習】

6月23日（金）に校外学習として1年生は東京ディズニーシー、2年生は東京ディズニーランドでそれぞれ楽しんだ。3年生は八景島シーパラダイスで、天候にも恵まれて生徒の思いでづくりの一環として実施することができた。

○【文化祭（りんどう祭）】 1日目 9月23日（土）9：00～15：00

2日目 24日（日）9：00～12：00

今年のテーマは、「密です！みんなの心をみつつみつ」であった。

在校生の保護者、卒業生、中学生等にも来場の案内をし、日頃の授業での作品展や部活動の紹介、油絵やイラスト、家庭科被服作品や華道部の展示、食べ物では、マドレーヌや焼き菓子の販売、また、ゲームでは射的やヨーヨー釣りなどで楽しんでもらうことができた。

体育館での吹奏楽部や軽音楽部の演奏も、大勢の人が鑑賞に来てくれて、今後の活動の励みにもなったようである。

- **【体育祭】** 5月26日（金） 9：10～14：40 青葉の森陸上競技場  
17クラスのクラス対抗戦で実施した。種目は、綱引きやクラス対抗リレー、部活対抗リレー、ボール運びリレーなど、小まめな水分補給や帽子の着用、競技中はマスクを外す等で熱中症対策をしながらの体育祭であった。大きな事故やケガもなく、久しぶりの体育祭を生徒も楽しんでくれたようである。
- **【球技大会】** 10月27日（金） 8：45～15：30 会場：千葉公園総合体育館  
開催テーマ：「YohaS アリーナ ～本能に、感動を！～」  
昨年は午前中のみで実施したが、令和5年度は1日の開催とした。競技種目は、バドミントン、ドッジボール、バレーボールに、昨年に行わなかったフットサルを加えて4種目で、それぞれクラス対抗のトーナメント形式で試合を行った。
- **【修学旅行】** 令和5年2月6日（火）～2月9日（金）3泊4日 沖縄県  
現2年生が対象で、目的は、沖縄独自の歴史や文化にふれ、また、戦争被害にあった足跡を辿ることで平和や安全について考える契機とする。団体行動をとおして協調性やコミュニケーション能力を高めることであり、南部ガマ、平和記念資料館、ひめゆりの塔、美ら海水族館、海洋博公園、むら咲村体験学習、国際通り観光などを見てまわった。2月5日の関東地方は大雪の恐れがあったことから、翌日の飛行機の出発が危ぶまれましたが、予報ほどではなかったため、無事に日程を終えることができた。生徒も良い思い出づくりができたようである。
- **【予選会】** 令和6年2月28日（水） 9：00～11：15  
令和5年度は体育館での発表も検討しながら進めていたが、感染拡大を考慮して昨年同様に動画配信とし、学年、部活、有志の発表をそれぞれ行った。3学年の先生方の発表もあり、生徒は各教室のTVモニターで視聴しながら楽しんだ。
- **【卒業式】** 令和6年3月1日（金） 10：00～ 会場：千葉市民会館大ホール  
第43回卒業証書授与式として挙行。178名が、教師、保育士、看護師、トリマー、美容師、デザイナーをめざして、そして中には、外国語を学んで世界の平和のために活躍したいと将来の夢に向かって力強く巣立っていった。

## 【広報活動の取り組み】

入学者の獲得のための広報活動については、目標を設定して取り組んでいるが、少子化や年々変化する受験環境の中でなかなか厳しいものがある。今年は併願者からの入学者数が若干伸びている。中学校訪問の強化とともに、今年度の学校説明会については「オープンスクール」と改め、また、個別相談会や入試説明会、web出願説明会を設け、目的や手段を工夫しながら募集活動を行ってきたことが功を制したと思われる。この学校で学んでみたい、通いたいと思ってもらえるような学校の魅力度をアピールできたのではないかと考えている。

次年度も、より一層高めることができるように、更に原因分析しながら募集活動を展開していかなければならない。

### ○ **【学校説明会（オープンスクール）】**

- 1) オープンスクールの開催（9：30～12：00）
  - 7月22日（土）全体説明・コース別説明・スクールツアー
  - 8月19日（土）全体説明・保育コース体験・スクールツアー
  - 8月26日（土）全体説明・模擬授業体験・スクールツアー
- 2) 個別相談会の開催（スクールツアー含む）

10:00～12:00「9月24日(日)、9月30日(土)、11月4日(土)」

16:00～18:00「11月28日(火)～12月1日(金)」

### 3) 入試説明会

10月21日(土) 全体説明(入試関係)、コース別説明、スクールツアー

10月28日(土) 全体説明(入試関係)、保育コース説明、スクールツアー

11月11日(土) 全体説明(入試関係)、公開授業、部活動体験

11月18日(土) 全体説明(入試関係)、コース別説明、スクールツアー

11月25日(土) 全体説明(入試関係)、保育コース説明、スクールツアー

### 4) web 出願説明会(個別相談含む)

9:30～12:00 12月2日(土)

その他、文化祭時にも個別相談を実施してきたが、説明会時には、補助生徒も大きな役割を担っており、活躍している現役生徒の姿が進路選択の誘因にもなっている。

### ○【中学校教員対象説明会】 「9月8日(金)」開催 1:35～16:00

中学校(例年30数校の参加)の管理職や進路指導担当の先生方を対象として、本校の理解を深めていただくことを目的として毎年開催している。レファレンスルームにて開催し、自由に授業やJITAN学習を見学していただいた後、学校紹介やこども保育コースの生徒の発表、校内案内、そして質疑応答等を行ってきた。

令和5年度は、中学校の先生方に本校の授業を中心に観て頂き、さらに本校への理解を深めてもらう場とするため、6月27日(火)、28日(水)の2日間にわたり平常日課の授業を自由に観ていただく場を設けた。

### ○【塾対象学校説明】 「9月15日(金)」開催 9:30～11:30

県内の塾経営者、指導者等(24塾26人の参加)を対象として開催し、レファレンスルームにて、学校紹介や募集要項の説明、こども保育コース生徒の発表等で本校への理解を深めてもらった。

### ○【首都圏進学フェア】幕張メッセ:8月5日(土)・6日(日)

NPO法人親子進路応援センター主催による「首都圏進学フェア」は、県内最大規模の進学相談会である。幕張メッセのほか、成田や柏、木更津などでも開催され、本校では可能な範囲で参加している。特に幕張では、本校のブースにも多くの相談者が立ち寄ってくれた。

これらの進学フェアについても、本校を紹介するうえで欠かすことのできない進学相談会の場となっている。

### ○広報媒体の活用

学校案内・パンフレット・HPのほか、ユーチューブ、雑誌などのメディア媒体や、電車・バス、建物、看板・電柱などの広告媒体などとおして、本校の魅力を発信してきたが、さらに工夫とアイデアをもって広報活動の充実を図る必要がある。

今年は特にマイクロドローンによる動画撮影を実施し、よりインパクトのある内容で動画制作することができた。また、HPのリニューアル化や、生徒にも母校を訪問してもらい、自分の成長した姿を見てもらうことを推奨して、自信と誇りを持ち、感謝の気持ちを育む指導も行い、これらのことが本校の魅力にも無形に貢献したと考えている。

### 【女専・こども園との連携】

#### ○千葉女子専門学校は系列校であり、卒業生の進学先として重要な位置づけにある。

また、普段の学習活動における相互協力関係にあり、これまで職員間の意思疎通と連携強化を図りながら推進してきた。

#### ○こども園においては、「こども保育コース」の生徒が保育実習で指導を受けてきたところであり、欠かせない実習先である。次年度も年間計画の中で実施のための相互の調整を図りながら円滑に進めていきたい。令和5年度は、5月11・14日に2年生が、5月29～31日、6月1・25日に3年生が保育実習を行った。

### 【その他学習環境整備等】

- 情報機器を活用した情報教育、並びに教科指導における ICT 活用や校務の情報化・効率化について、その充実強化を図るため、コンピュータや iPad 等の追加購入を行った。特に、家庭と学校の学びの継続を保障することを目的として整備した生徒 1 人 1 台端末 (iPad) 等の維持管理とともに、運用ポリシーについても確認しながら活用することができた。
- 校舎及び外灯等の照明器具の LED 化とともに、空調機の故障が目立つようになり、教室および各部屋の空調機を更新した。
- 中校舎の東側非常階段の腐食防止のための塗装工事や生徒用手洗い場の増設等を行い、学習環境の維持・改善に努めてきたところである。

### 【継続課題等】

- 基礎基本の定着を図ること。(本校の継続的な学習指導の中心である。)
- 職員研修体制の充実 (更新免許制度の廃止による研修制度の充実。)
- 広報活動の更なる充実を図ること。(魅力ある学校づくりをめざす。)
- 地域に調和した部活動の活性化。(日頃の練習活動が発揮できる環境づくり。)
- 校舎を含めた施設設備等の充実。(老朽化対策や学習環境の見直し。)

## (3) 千葉女子専門学校附属聖こども園

### 【教育・保育目標】

幼保連携型認定こども園における教育及び保育の目的は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うとともに、子どもの最善の利益を考慮しつつ、その生活を保障し、保護者と共に園児を心身ともに健やかに育成することにある。それらの目的の達成のため、本園では以下のとおり方針・目標等を掲げ日々実践に取り組んでいる。

- (1) 教育・保育方針 「かしこく、たくましく、心健やかな子」
- (2) 教育・保育目標：
  - ①学びの芽を育て、生涯学習の基礎を培う。
  - ②自己を発揮し、たくましい体と優しさを身につける。
  - ③互いの気持ちを伝え合い、情操豊かな心を育てる。
- (3) 個別目標 幼稚園 —
  - ①しなやかな心と体の発達を促す。
  - ②協調性を養う。
  - ③「集中力」と「達成感」を身につける。
  - ④「いのち」の大切さを知る。
- 保育部 —
  - ①信頼感や思いやりの心を育てる。
  - ②基本的生活習慣の自立を養う。
  - ③運動機能の基礎を身に付け健康な体を作る。
  - ④遊びを通し、想像力/自主性/責任感などを育む。

### 【教育・保育の展開】

教育・保育要領に沿った、それぞれの領域 (健康・人間関係・環境・言葉・表現) のねらいや内容、並びに年齢や発達段階に応じた指導計画等を組み立てながら日々の教育・保育活動に取り組んできた。

《ねらい》

### 【0歳児】

- ・特定の大人と愛着関係を築いた上で、心地よく生活する。
- ・一人一人の生活リズムを大切に、食欲睡眠排泄などの生理的欲求を満たす。
- ・体の動きや表情・喃語を受け止めてもらい、応答による言語が芽生える。
- ・一人一人の発達に応じて歩行・言葉の発達を促し、身近な環境に興味・関心を持つ。

## 【1歳児】

健康	歩行を楽しみ行動範囲が広がる。
人間関係	保育教諭や友だちに関心を持ち、模倣遊びや共に過ごす事の喜びを味わう。
環境	安全で活動しやすい環境の中で、好奇心が高まり行動範囲を広げる。
言葉	保育教諭や友だちと、簡単な言葉のやり取りを楽しむ。
表現	泥・水・紙・粘土などいろいろな素材に触れ、手先・指先や全身で遊ぶ。

## 【2歳児】

健康	自分でトイレに行き、排泄の始末や手洗いをしようとする。 生活や遊びを通して、手先・指先及び全身を使う事を楽しむ。
人間関係	甘えや自己主張を受けとめてもらいながら、安心して自分の気持ちを表す。 友だちとの関わりを通して一緒に遊んだり、同じ行動をしたりして楽しむ。
環境	草花や小動物に触れて遊び、身近な自然に関心を持つ。
言葉	保育教諭や友だちとの言葉のやり取りを楽しむ。
表現	いろいろな素材や道具に興味を持ち、描いたり、作ったりしながら自分がイメージしたものを表現しようとする。

## 【年少】

健康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。
人間関係	こども園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。
環境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。
言葉	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。
表現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。

## 【年中】

健康	自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。
人間関係	身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する。 楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。
環境	身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
言葉	人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
表現	感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。

## 【年長】

健康	健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。
人間関係	社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
環境	身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
言葉	日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育教諭等や友達と心を通わせる。
表現	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

### (1) 乳幼児保育の指導体制

0歳から2歳までの保育は、年齢別にクラス編成を行っているが、集団との関わりをとおして社会性を育む観点等から、活動そのものは一緒に進めている。

### (2) 合同保育の様子

3歳から5歳までの園児に対する合同保育（9時～14時位）については、ぱんだ組、いちご組、カンガルー教室からの持ち上がりの園児が多いため、1号・2号の分け隔てなくスムーズな園児活動が定着している。教室では、工作遊び、手遊び、音楽表現などの活動をとおして情操教育の充実を図っている。

### (3) 預かり保育等の充実

「預かり保育」は、朝7時～8時30分、夕方14時30分～18時00分の時間を有料（通常1時間当り1,900円、30分100円、時間帯により割引有り）で行っている。また、「バス待機預かり」を14:15から最後のバス出発まで無料で、2号・3号

認定の子の預かり保育は18時を限度に、それ以降は、全園児を対象として20時まで「延長保育（有料1時間当たり3歳未満3,000円、3歳以上1,900円）」を行っている。

《シフト制により職員、パートを配置して対応》

7:00～	8:30	(1号・2号・3号短時間保育認定 …有料)
14:30～	20:00	(1号 ……………有料)
16:30～	20:00	(2号・3号短時間保育認定 ……………有料)
18:00～	20:00	(2号・3号標準時間保育認定 ……………有料)

#### (4) 未就園児教室等の実施

2歳児の子どもだけを対象としたものや、親子を対象としたもので、これらは子育て支援等を目的として実施しているものであり、保護者や地域から園への理解を深めてもらう観点からも重要な位置づけになっている。

- ①**カンガルー教室** (親子1・2歳児クラス)  
担当教諭 3名で対応  
実施日 月2回程度 金曜日10:00～11:30  
人数 23組程度  
料金 実費年2,000円(教材費・保険料)
- ②**いちご組教室** (2歳児クラス 親子分離、園児のみ)  
担当教諭 3名で対応  
実施日 週2日 月・水 9:00～14:00  
(子育て支援として実施)  
人数 1クラス7名程度、1クラス  
料金 7,500円(弟妹割引あり)
- ③**未就園児親子教室** (1・2歳児親子クラス)  
担当教諭 4名で対応  
実施日 月1回、年9回程度(次年度の入園へと繋いでいる)  
人数 1回13組親子程度  
料金 無料
- ④**いちごミルク教室** (0・1歳児親子) 令和5年度から実施。  
担当教諭 3名で対応  
実施日 月1回(水) 10:00～11:30  
人数 10人程度  
料金 無料

### 【各種行事の取り組み】

子どもの成長・発達にとっては、行事は欠くことのできない保育活動の一つである。子どもの成長の節目をお祝いする行事(入園式・卒園式・誕生会)や、伝統的な行事(ひな祭り・七夕祭り・豆まき・餅つき)、子どもの日頃の成長、成果を発表する行事(運動会・お遊戯会・発表会・作品展)、体験や活動の幅を広げる行事(遠足・お泊り保育・芋ほり)、親子・保護者同士の交流を深める行事(保育参観・親子遠足)など、実施する行事の目的や意義を明確に捉えながら年間計画を立てている。しかしながら、今年もコロナの影響が残っているため一部中止や規模縮小といった状況で令和5年度も実施してきたが、コロナ以前のかたちで出来るところは職員間の共通理解を図りながら実施してきた。

- 【入園式(入園の会)】4月10日(月)2部制クラス毎、保護者2名。
- 【親子遠足】4月28日(金)現地集合・現地解散 稲毛海浜公園。
- 【保育参観】幼稚舎:1回目「6月6日(月)～8日(水)」  
2回目「1月30日(火)～2月1日(木)」  
いずれもクラス毎にプレイルームにて実施。保護者1名。  
保育部:5月16日(火)～18日(木)  
※日常保育で得ることのできない親子の様子を知ることができた。

- 【夏祭り（夕涼み会）】7月1日（土）学年毎、保護者2名。園庭で盆踊りや縁日。  
夕涼み会として、2歳児は夕方から園庭で縁日や盆踊りを楽しむ。  
0・1歳児も午前中に日本のお祭りをテーマに親子で楽しんだ。
- 【お泊り保育】7月15日（土）泊まらずに夕方から夜にかけて「お楽しみ保育」として実施。打ち上げ花火の際は密にならないように園外で観覧してもらった保護者もいた。
- 【スポーツの会】10月7日（土）運動会 1部年少・2歳児、2部年中長、保護者2名。  
保育部は、9月13日（水）に「親子で遊ぼう」をテーマに園庭で運動遊びを楽しんだ。
- 【お誕生会】原則毎月実施。
- 【芋ほり遠足】10月17日（火）～19日（木）学年毎、園児のみ。園バス利用
- 【ハローウィン】10月27日（金）英語教室とコラボ、仮装して楽しむ。
- 【クリスマス発表会】12月9日（土）各クラス毎、保護者2名。  
保育部は、12月19日（火）に2部制で実施。保護者2名。
- 【もちつき大会】中止
- 【卒園式】3月16日（土）クラスごと2部制、保護者2人まで。

### 【園外行事について】

- 近隣の小学校とは、入学式・卒業式に参加し合っていたが、3年間コロナの影響により、5年度についてもお互いに出席を見送っている。

### 【行事の駐車場について】

- 令和5年度も大きな行事の保護者参加を学年毎とした為、園の駐車場を入れ替え制で利用ができ、近隣小中学校の一部を駐車場として借用している。

### 【バス運行】

- 31年度より委託業者を西崎観光からメンテナンスジャパンへ移行している。
- 2便バスに乗車する園児が増加したため、1号バスと時間を入れ替えて対応した。
- 事故防止と職員配置を考慮し出発時刻を10分程度早めたところ園児・職員の動線がうまく繋がり問題点が解決された。今年度も遂行する。
- バスの取り残し事故がないように、乗降時の園児の確認を徹底した。

### 【関係部署との連携強化】

- 保育部と幼稚舎との職員同士の共通理解を図りながら保育活動を進めることは運営上の重要な要である。朝の打合せ、職員会議、職員同士の声かけ等をとおして、コロナ禍での園児活動が円滑に進むように取り組んできた。
- 専門学校の学生及び聖心高校の「こども保育コース」の生徒に対する保育実習の受け入れを例年どおり行ってきた。子どもたちもお姉さん先生との交流を楽しみにしている。また、職員も新鮮な刺激や気づきがあり、保育の向上にもつながり、連携強化を図りながら相互の交流を図ることは意義深い。

### 【安全・安心な保育環境の整備】

- いつ、どのようなことが起きても適切な対応ができるように保育環境の安全点検に努めてきた。施設設備等に起因する大きな怪我や事故等の発生はなかったが、5年度もコロナの感染予防対策を実施しながらの保育運営となった。  
こうしたウイルス感染対策を含めた安全・安心な保育環境づくりに引き続き取り組んでいくことは当然である。
- 4年度は遊びの場をコーナー化して、子どもたちが活動しやすいように環境を整えた。  
引き続き、室内あそび・戸外遊びの教材研究と整備を行う。

## 【その他の課外活動】

○課外活動は、サッカーと英語を行っている。

・英語 … 正課英語のある金曜日 14:15～15:00（年中長希望者のみ）

・サッカー … 火曜日 14:30～15:30（年長希望者のみ）

木曜日 14:30～15:30（年中希望者のみ）

## 【その他諸課題等】

○職員の労働環境も、働きやすい環境が少しずつ整備されているが、こどもの人数によって左右される問題であるため、今後も継続して取り組んでいく。

○コロナの影響により働き方にも変化がでている。無駄を省き、効率よく仕事や作業ができるようになった。業務量負担の軽減等、今後も継続してその改善に努めていく。

○園内外の研修や講習会等に積極的に参加し、保育の質の向上に繋げていく。

○新こども園教育保育要領の園内研修を継続し、保育や計画（学級経営案・年間計画・月案・週案・日案など）の見直しを図る。

○保護者の協力、声を取り入れた園の運営は重要である。保護者と共に歩むコロナ後の園活動の充実を図る。

○子育てに不安を抱えている保護者が多いことから、その支援活動に取り組んでいく。